

研究タイトル： **効果的な外国語指導方法の研究**

| | | | |
|-----------------|--|---------|-------------------------|
| 氏名： | 臼田 悦之／USUDA Yoshiyuki | E-mail： | usuda@hakodate-ct.ac.jp |
| 職名： | 教授 | 学位： | 修士(教育学) |
| 所属学会・協会： | 全国英語教育学会, 北海道英語教育学会, 外国語教育メディア学会, 全国高等専門学校英語教育学会, 全国語学教育学会, 小学校英語教育学会, 函館英文学会 | | |
| キーワード： | タスク, TBLT, Technology-Mediated TBLT, ICT, 英語教育 | | |
| 技術相談 提供可能技術： | <ul style="list-style-type: none"> ・タスクのデザインと開発 ・ICTを活用した外国語指導 | | |


 研究内容： **EFL 環境における効果的なタスクのデザインと開発**
1. Tasks

外国語の授業で行うコミュニケーション活動にタスクを取り入れることで、教室内に主体的・対話的で深い学びが起こり、学習者に気づきや動機づけを与える可能性があると考えられる。タスクは難しいととらえられるふしもあるが、Output-based tasks と Input-based tasks に分けて考え、Output-based tasks が難しい場合は認知負荷の少ない Input-based tasks から始め、徐々に Output-based tasks へ移行することで、言語リソースが少ない学習者に対してもタスクを実施することができる。また両者が複合した Integrated tasks をデザインすることで技能バランスのよい活動にすることもできる。その際、難易度を考えながらシラバス上に配置することが重要である。学校種や学習者のニーズにより、どのようにタスクをデザインしそして開発していくか、またどう配列するかが研究の課題である。

2. Task-Based Language Teaching (TBLT)

情報化やグローバル化が人間の予測を超えて加速している現在、学習指導要領の改訂に伴い、世界で生き抜く術を身に付けるべく主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善が求められている。そして今や日本も、小学4年生から外国語活動として英語教育が始まり、日本の英語教育は変化しつつある。従って、伝統的な教師主導の文法シラバスから、主体的・対話的で深い学びに親和性があるとも言われる TBLT の導入の可能性を今まで以上に検討する必要があると考えられる。タスク開発と共に、タスク・シラバスの実現性を研究課題としている。

3. Technology-Mediated TBLT

テクノロジーはタスクの活用と効果の可能性を高め、テクノロジーを活用することで TBLT に多くの利点を生み出すことがわかっている (Thomas and Reinders, 2010)。様々な Input materials を提供できるだけでなく、Performance や Output のための Platform まで一つのデバイスで完結させることが可能である。文部科学省が打ち出した GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想により、1人1台端末環境が学校のスタンダードである現在、今まで手間暇がかかっていたタスクの準備や実行も簡単にそして効果的に行うことが可能となった。今後はテクノロジーを活用したタスクのデザインが研究課題となる。

4. ICT-supported Learning

ICT を活用した授業は学習者に動機づけを与え、それまでの授業方法を大きく変えた。CALL (Computer-mediated Language Learning) は有線 LAN 接続の Computer Laboratory と Audio-Visual System が統合された CALL ラボまたはマルチメディア・ラボの形が多く、学習者に多様な Learning Style を提供し、face-to-face teaching との併用 (Blended Learning) で効果的な指導がこれまで展開されてきた。現在は、GIGA スクール構想により、言語学習にも ICT (ノート PC, タブレット端末, スマートフォンなど) の活用が普及し、今後は無線 LAN 環境での CALL, すなわち教室を選ばない CALL に移行していく可能性があり、その効果的活用方法の研究が課題となる。

【Reference】

Ellis, R., Skehan, P., Li, S., Shintani, N. & Lambert, C. (2020). *Task-Based Language Teaching: Theory and Practice*. Cambridge: Cambridge University Press

Thomas, M. & Reinders, H. (eds.). (2010). *Task-Based Learning and Teaching with Technology*. London: Continuum.